

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	3年度
事業名	社会福祉協議会支援事業	担当課	長寿介護課
事業内容(簡潔に)	社会福祉協議会に対して補助する事業		

### 1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	思いやりのあふれる福祉のまちづくり	
	政策	地域の絆で支え合い、助け合う福祉のまちづくり	
	施策	高齢者福祉の充実	
関連する個別計画等	地域福祉計画	根拠条例等	葦崎市社会福祉協議会事業費補助金交付要綱

### 2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	地域福祉事業推進の担い手に位置づけられている、社会福祉法人葦崎市社会福祉協議会へ補助を行うことで、事業等の充実を図るとともに、地域福祉を推進する。
事業の手段	社会福祉協議会の運営事業等に要する経費に対し補助金を交付する。 *人件費補助 事務局長・福祉活動専門員・事務局職員・福祉活動コーディネーター・日常生活自立支援事業専門員 *地域福祉推進事業(ふれあいのまちづくり) 在宅福祉事業(交流会等の開催) 福祉啓発事業(講座等の開催 広報誌の発行)
事業の対象	社会福祉協議会の社会福祉活動の対象となる市民

### 3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		30年度	元年度	2年度
財 源 内 訳	A 事業費 (千円)	22,085	22,648	22,627
	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	22,085	22,648	22,627
B 担当職員数(職員E) (人)	0.1	0.1	0.1	
C 人件費(平均人件費×E) (千円)	686	672	658	
D 総事業費(A+C) (千円)	22,771	23,320	23,285	
主な事業費用の説明	事業補助、人件費補助			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した30年度(6,862千円)、元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)を使用しています。

### 4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
活動指標	1 在宅福祉事業参加者	年間参加者数	388	350	0
	2 ボランティア活動参加者	年間延べ参加者数	1,737	1,491	435
	3 ボランティア登録数	年間登録者数	537	536	538
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明		1 在宅福祉事業の参加者は、例年、同程度であるため、事業として妥当である。(令和2年度は、感染拡大防止のため中止) 2 ボランティア活動等の参加者は、感染拡大防止のため、通常の活動ができず、参加者が減少しているが、ボランティアは必要な活動である。 3 ボランティア登録者は、例年、同程度であるため、妥当である。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値			
			30年度	元年度	2年度	
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	ボランティア活動参加率 (%)	参加者数/登録者数 (435人/538人)	323.5	278.2	80.9
	2	ふれあいのまちづくり事業 参加者一人当たりの事業費 (円)	事業費/参加者数 (1,123千円/435人+0人) ※2年度の事業費は、主に福祉 啓発事業	892	1,013	2,582
	3					
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない				
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	感染拡大防止のため、通常の活動ができず、参加率は大きく減少した。				
	2	感染拡大防止により、福祉啓発事業等以外の在宅福祉事業は実施できず、ボランティア参加者も減少したため、一人当たりの事業費は増加した。				
	3					

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)	
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)	
	令和3年度の改善計画 (今後の事業展開説明) ふれあい交流運動会、ボランティア講座、老人福祉センターまつりの内容等は毎年精査することを求める。また、コロナ禍でも感染拡大防止に配慮し、実施できる方策や事業等について検討することを求める。	
過去の改善経過	改善の経過	平成25・26・27年度に、市の職員を派遣した。
	直近の評価結果	内部評価      令和元年度 <input type="checkbox"/> 拡大      - <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
		外部評価      令和元年度 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
改善案	ふれあいのまちづくり事業補助金について、参加者は増加傾向で妥当と思われるが交流会・啓発事業の回数・内容等は毎年精査することを求める。	
課長所見	地域において高齢者の福祉・介護事業を行う担い手として、社会福祉協議会は無くてはならない団体であると認識しており、今後も人的支援や予算面の支援が必要である。 コロナの影響もあり、収益は見込めない状況に加え、施設の老朽化により改修費の増加が懸念される。	